

最新の研究、技術を学ぶ

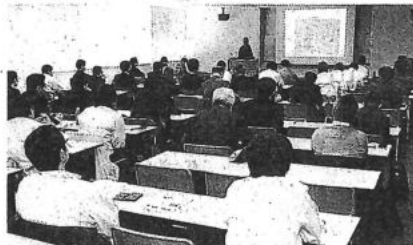
県コンクリート診断士会

研究会開催

福井県コンクリート診

断士会（山川博樹会長）

は12日、福井市手寄のア
オッサで「金沢大学 S I



P（新WG2）研究発表
および I O T 他先端技術

の研修」を開催した。

会員が最新の研究成果
と技術に触れる機会を設
け、業務改善に繋げるこ
とが目的。この日は約50
人が参加した。

はじめに山川会長が挨拶。
新たな会のロゴマー
クとイメージキャラクター
を発表したほか、「しっ
かりと研修してほしい」
と参加者へ呼びかけた。
続いて、金沢大学の梶

谷浩教授が「S I V E

（自走式衝撃加振機）に

よるコンクリート床版の
衝撃載荷試験」、大日本

コンサルタントの横山広
氏が「曲率による床版劣
化度の評価」、同大学の
久保善司准教授が「地方
道における A S R（アル
カリ骨材反応）維持管理
対策」について発表。写
真。参加者は各自の業務
経験と照らし合わせ、コ
ンクリートに対する理解
を深めた。

その後、オプティムの
鈴木健一氏が自社の A I
現場作業支援サービス
「SmartField」
を紹介。I O T デバイス
を用いて音声報告のテキ
スト化、動態・タスク管
理、遠隔作業支援を行う
もので、現場対応範囲拡
大と業務効率改善、残業
・移動時間の大幅削減が
実現可能と主張した。